

# 2017年ユネスコ 「人間と生物圏（MAB）計画」 ユースフォーラム

イタリア・ポーデルタ生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）

2017年9月18-22日



*Committed to  
Sustainable  
Development*

# 2017 MAB YOUTH FORUM

# 宣言（仮訳）

## 前言

我々、85か国の142か所の生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）から282名のユース（青年）人間と生物圏計画（以下、MAB計画）代表が、2017年9月18日から22日にかけてイタリアの「ポーデルタユネスコエコパーク」に集まり、第1回「MAB計画ユースフォーラム」に参加した。このフォーラムでは、「ポーデルタユネスコエコパーク」の8か所で50回以上のワークショップが開催され、このように対話型・参画型の要素が非常に強いフォーラムへの参加機会があることに大変感謝する。

我々は、「ポーデルタユネスコエコパーク」の住民やフォーラムの主催者、スポンサー、参加者、ホスト機関及びボランティアの皆さんの温かいおもてなしと、我々が快適に過ごせるよう尽力くださったことに感謝する。今回のフォーラムは、ユース世代同士で情報交換及び協力しながら、ユネスコエコパークにおけるユースの未来について共通ビジョンを構築する大変素晴らしい機会であった。我々の生き立ち・背景状況はそれぞれ異なるが、ユネスコエコパーク、生物圏保存地域世界ネットワーク、そして、ユネスコの「MAB計画」における共通の目標と行動のもと、一致団結している。

## 宣言

「MAB計画ユースフォーラム」の代表として、我々はすべてのユネスコエコパークが、当該地域の企業の参画と地域の利害関係者との協力を得て、（特に生物多様性の保全と生息地の回復など）ユネスコエコパークの価値観と関連する魅力的で長期的な雇用機会を創出することをお願いしたい。具体的には下記を提案したい。

- 各ユネスコエコパークにおいて、持続可能なビジネスのアイデアを支援するためのハブ（中核）やインキュベーター（起業支援機能）を創ること。
- ユネスコエコパークの価値観に即した雇用機会を情報共有するためのオープン・データベースを構築すること。
- ユネスコエコパーク内におけるユースの技能と就業能力を高めるための研修プログラムを開発すること。

「MAB計画ユースフォーラム」の代表として、我々はすべてのユネスコエコパークが、これらの地域の価値に関する学術的知識と伝統的な知識を普及し、社会の認知度と自らの帰属感を高め、また、それらを次の世代へしっかり引き継いでいくよう求めたい。

「MAB計画ユースフォーラム」の代表として、我々自身が下記について行動していくことを約束するとともに、各ユネスコエコパークに対してもこれらをお願いしたい。

- 地域の利害関係者とコミュニティの参画を得て、文化、生態、経済をテーマとした関連活動を定期的に企画すること。
- 若者をユネスコエコパークの大使になれるよう育成するためのサマーキャンプ、ワークショップ、会議を企画する。

我々はすべてのユネスコエコパークが当該地域の内外に所在するすべてのレベルの教育機関との関係を構築することを求めたい。具体的には、下記のとおり。

- 学校と大学において、ユネスコエコパークの特性、価値観及びツールを扱う特定のカリキュラムやプログラムを開発すること。
- 応用研究の促進やインターンシップの機会増加のため、研究機関や地域の経済団体と連携すること。

「MAB計画ユースフォーラム」の代表として、我々は、生物圏保存地域ネットワークが、ユネスコエコパーク間における情報、アイデア、知識、優良事例の交流を促進することを提案する。特にこれらの交流において若者の参加を促すツールを通じて、実践することを推奨したい。具体的には、下記のことを提案する。

- 地域のユースフォーラムの定期的な企画
- ユネスコエコパーク専用のオープンアクセスが可能なデジタル・プラットフォームの開発・維持（例えば、スマホのアプリによるウェブ会合やオンラインコース）
- 学校間やテーマ別ユネスコエコパークのコミュニティ間のネットワーク構築に向けた、ユネスコエコパーク・スクール及びユースクラブのプログラムの創設。

我々は、ユネスコエコパーク及び生物圏保存地域ネットワークが、具体的なプロジェクトを実施する上で、ユースの交流及び協力を促進することを求めたい。例えば、ユネスコエコパークにおけるボランティアプログラムや、各国の間の相互訪問などの促進が考えられる。

「MAB計画ユースフォーラム」の代表として、我々は、例えば、エアビーアンドビー（Airbnb）<sup>1</sup> やカウチサーフィン（The Couchsurfing Project）<sup>2</sup> のような、ユネスコエコパークにおける若者向けの受入れプロジェクトを創設するよう最大限努力したい。

我々は、若者による長期プロジェクトを支援するため、地域内と地域間の資金獲得の手助けを次の手段により呼びかけることとしたい。

---

（以下注釈は日本語訳向けのみ）

1. 宿泊施設・民宿を貸し出す人向けのウェブサイト
2. インターネット上の無料で国際的な“ホスピタリティー・コミュニティ”で、海外旅行などをする人が、相互的な思いやりと信頼により、他人の家に宿泊させてもらう仕組み。ウェブサイトの会員制コミュニティ。

- 資金調達と資金源の開拓のため「資金調達専門家グループ」または「資金調達助言委員会」を設置
- 「MAB計画」のクラウドファンディングのプラットフォームの構築を推進
- 企業に普及するユネスコエコパーク炭素排出に関する認証システム構築の可能性を検証

「MAB計画ユースフォーラム」の代表として、我々は、若者にとって効果的に活動ができるよう、ユネスコ「MAB計画」国際調整理事会（ICC）における「MAB計画」のあらゆる面でのコミュニケーションの向上を求めたい。

- すべてのユネスコエコパークにおいて、若者の参画に関するデータを収集するための「MAB計画」の調査を促進
- 既存の「MAB計画」の「コミュニケーションガイドライン」と「ツールキット」の更新及び今後の文書作成にあたっては、ユースの視点を組み入れる
- ユースによる最優秀プロジェクトを表彰する「MABユース賞」を設置
- 「MAB計画」の公式文書について、“ユースにわかりやすい言葉”でまとめた概要資料の作成

我々は、ユネスコ「MAB計画」国際調整理事会（ICC）が「MAB計画」のビジョン、ミッション及び活動に関する知識や認識を世界に広めることを求める。下記のことを提唱する。

- 「MAB計画」の価値観を普及する著名人をイメージ大使として起用
- 「MAB計画」博覧会の定期的な開催

「MAB計画ユースフォーラム」の代表として、我々は、双方向のツールの開発と普及に力を入れることで、あらゆるレベルで「MAB計画」に関する情報を共有することを約束する（例えば、ソーシャルメディア、ストーリーテリング、漫画）。

我々は、各層の「ユース代表」を選抜して「MAB計画」のガバナンスにおける参画の位置づけを提案する。特に意思決定プロセスの重要な局面においてのユースの参画を求める。

我々は、ユネスコ「MAB計画」国際調整理事会（ICC）がユースをオブザーバーのメンバーに含むことを求めるとともに、各国がユースを国の代表団、「MAB計画」のナショナル・コミッティー（国内委員会）、及びユネスコエコパークにおけるガバナンスへの参画を必須とするよう推奨する。

最後に、我々は、我々のユネスコエコパーク及び地域の若者たちに、2017年「MAB計画ユースフォーラム」について報告することを約束する。また、ユネスコに対しプラットフォームとメカニズムを構築し、本フォーラム行動計画の実施を監視（モニター）し、かつ定期的に実施状況について報告書を提出することを求める。

## 行動計画

すべての生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）に適用						
目標	リマ 行動計画	持続可能な 開発目標 (SDGs)	行動	優先度	ユースの 関与 (責任)	ユネスコのツール
<b>生物圏保存地域 (ユネスコエコパーク) - 目標 1</b>  地域の企業の参画と利害関係者との協力を得て、（特に生物多様性の保全と生息地の回復など）生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）の価値観と関連する魅力的で長期的な雇用機会を創出する。	A4.2; A5; B1; C3.1; C4.2; C5	SDG目標 8 (働きがいも、経済成長も)	a. 各ユネスコエコパークにおいて、持続可能なビジネスのアイデアを支援するためのハブ（中核）やインキュベーター（起業支援機能）を創る。	+		サイエンスパークと科学技術ビジネスインキュベーター
			b. ユネスコエコパークの価値観に即した雇用機会を情報共有するためのオープン・データベースを構築する。	+		Opening Access to Sustainable Independent Income Streams (OASIS) ※ユネスコエコパークにおける持続可能な経済の推進を目的としたオンラインプラットフォーム ( <a href="https://www.oasis-br.org/#/">https://www.oasis-br.org/#/</a> )
			c. ユネスコエコパーク内におけるユースの技能と就業能力を高めるための研修プログラムを開発する。	+		ユネスコスクール・プロジェクト・ネットワーク (UNESCO ASPNET)、万人のための教育 (EFA)、「仕事と生活技能」訓練計画、国際職業技術教育事業 (UNEVOC)、技術教育及び訓練並びに職業教育及び訓練 (TVET)
			d. 長期的なビジョンを持てるよう可能性と機会を提供し、グリーン経済に従事するスタートアップ（操業開始・新興ビジネス）の創設と成長を支援する。			

<p><b>生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）-目標2</b></p> <p>生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）の価値に関する学術的知識と伝統的な知識を普及し、社会の認知度と自らの帰属意識を高め、また、それらを次の世代へしっかり引き継いでいく。</p>	A2.4; D2; C8	SDG目標4 (質の高い教育をみんなに)	a. 地域の利害関係者（ステークホルダー）とコミュニティの参画を得て、文化、生態、経済をテーマとした関連活動を定期的に企画する。	+	+		
		SDG目標12 (つくる責任、つかう責任)	b. 若者をユネスコエコパークの大使になれるよう育成するためのサマーキャンプ、ワークショップ、会議を企画する。	+	+		
			c. ユースの執筆記事を含んだユネスコエコパークのイベントを紹介する定期刊行物（ニュースレター）を創刊する。			+	ニュースレター
			d. 地元のユネスコエコパークに2017年「MAB計画ユースフォーラム」について報告する。			+	
			e. エコツーリズムと体験型観光を通じて伝統的で学術的知識を広める。				ユネスコ世界遺産の持続可能な観光ツールキット、ユネスコMAB計画ブランド&ストーリーツールキット
			f. 「ユネスコエコパークの日」を設定し、祝う活動を行う！			+	ユネスコエコパーク国際デー ※MAB40周年を祝う日として2011年11月3日に実施された
			g. ユネスコエコパークの目標に関連する最も革新的で効果的なユースプロジェクトを表彰する賞を設置する。			+	MAB計画若手研究者賞
			h. ユネスコエコパーク、学校において、また各種の活動を行う際に、ユース大使としてユネスコエコパークの理念を普及するため、地域内でユース代表を選抜する。			+	「MAB計画ユースフォーラム」参加者
			i. 子供、10代の世代と大人向けに、ユネスコエコパークの文化や生息地に関する知識が学べるゲーム（オンラインや室内ゲーム）をつくる				『世界を救う』ゲーム

			j. より簡潔な言葉でユネスコエコパークの研究成果を発表する。(例えば会議、ソーシャルメディア、新聞、祝日・お祭りなど)		+	
			k. ローカルプロダクトとサービスを統合したブランディングにより、地域の利害関係者との協力を強化する			ユネスコブランド&ストーリーツールキット
			l. ユネスコエコパーク博覧会を開催し、ユネスコエコパークのすべてのプロジェクトとテーマを紹介する。			
<b>生物圏保存地域 (ユネスコエコパーク) -目標 3</b>  ユネスコエコパークが当該地域の内外に所在するあらゆるレベルの教育機関との関係を構築する	A4.2; B7	SDG目標 4 (質の高い教育をみんなに)	a. 応用研究の促進やインターンシップの機会増加のため、研究機関や地域の経済団体と連携する。	+		サイエンスと科学技術ビジネスインキュベーター
			b. 学校と大学においてユネスコエコパークの特性、価値観及びツールを扱う特定のカリキュラムやプログラムを開発する。	+		ユネスコスクール・プロジェクト・ネットワーク (UNESCO ASPNET)、ユネスコチェア
			c. 大学とパートナーシップを構築し、eラーニングコースを実施する。			ユネスコチェア
			d. 学校を対象とするスタディビジット(訪問学習)、教育ツアー、及び野外ワークショップを企画する。			
			e. 教員向けの実践的ワークショップを実施し、教員がユネスコエコパークの重要性に関する知識を得て、どのようにユネスコエコパークの重要性について教育・学習計画の中に取り入れていけるかの研修を行う。			「万人のための教育」、「持続可能な未来のための学習」計画、2030年教育のための教員国際タスクフォース、教員研修ワークショップとセミナー
			f. ユースの雇用を促進する方策の一つとして、奨学金付きインターンシップを実施する。			Opening Access to Sustainable Independent Income Streams (OASIS) ※ユネスコエコパークにおける持続可能な経済の推進を目的としたオンラインプラットフォーム <a href="https://www.oasis-br.org/#/">(https://www.oasis-br.org/#/)</a>

			g. ユネスコエコパークの内外の教育機関において、ユネスコエコパークと「MAB計画」の価値観に関連するプレゼンテーションやワークショップを企画または推進する。			ユネスコスクール・プロジェクト・ネットワーク (UNESCO ASPNET)
--	--	--	---	--	--	---

### 生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）ネットワークに適用

目標	リマ 行動計画	持続可能な 開発目標 (SDGs)	行動	優先度	ユースの 関与 (責任)	ユネスコのツール
<b>生物圏保存地域ネットワーク -目標 1</b>  生物圏保存地域 （ユネスコエコパーク）間における情報、アイデア、知識、優良事例の交流を促進する。特にこれらの交流において若者の参加を促すツールを通じて、実践する。	A4.4; A4.5; B5; B6	SDG目標16 （平和と公正をすべての人に）  SDG目標17 （パートナーシップで目標を達成しよう）	a. 世界の地域レベルでのユースフォーラムを定期的に企画する。	+		
			b. ユネスコエコパーク専用のオープンアクセスが可能なデジタル・プラットフォームを開発・維持する。（例えば、スマホのアプリによるウェブ会合やオンラインコース）	+		オープントレーニングプラットフォーム
			c. 学校間やテーマ別ユネスコエコパークのコミュニティ間のネットワークの構築に向けて、ユネスコエコパーク・スクール及びユースクラブのプログラムなどの創設により、テーマ別のネットワークを構築する。	+		「MAB計画」ネットワーク
			d. 関係国やトピック（山岳地域のユネスコエコパークなど）を掲載する、ユネスコエコパーク地域やネットワーク向けのニュースレター/回覧物の創設、貢献。			
			e. ユネスコエコパーク間での様々なコンテスト（例えば、写真展）を開催する。			ユネスコ「もし私が世界のユースだったら」コンテスト（ユース写真・ビデオコンテスト） <a href="https://en.unesco.org/news/global-youth-contest-if-i-were-and-winners-are">https://en.unesco.org/news/global-youth-contest-if-i-were-and-winners-are</a>
			f. 特定のテーマでのユースフォーラム			



			を開催する。			
<b>生物圏保存地域ネットワーク</b> <b>-目標 2</b>  生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）及び生物圏保存地域ネットワークが、具体的なプロジェクトを実施する上で、ユースの交流及び協力を促進する。	B1; B2; B4; B6; B7; C2; C3	SDG目標17（パートナーシップで目標を達成しよう）	a. ユネスコエコパークにおけるボランティアプログラムや、各国の間の相互訪問を実施する。	+		国連ボランティア
			b. 例えば、エアビーアンドビー (Airbnb)とカウチサーフィン (The Couchsurfing Project) のような、ユネスコエコパークにおける若者向けの受入れプロジェクトを創設する。	+	+	
			c. ユネスコは、同じネットワーク内における異なるユネスコエコパークのユースの交流を対象とした奨学金制度を設置しなければならない。	+		
			d. 既存の国際モビリティプログラム/奨学金事業（例えばエラスムス計画、ネルソン・マンデラ基金、フルブライト奨学金、など）とパートナーシップを構築することで、若者に他のユネスコエコパークについての認識を促進させる。	+	+	ユネスコチェア
<b>生物圏保存地域ネットワーク</b> <b>-目標 3</b>  若者による長期プロジェクトを支援するため、地域内と地域間の資金獲得の手助けを促進する。	A5; C5; C3.2	SDG目標 4（質の高い教育をみんなに）  SDG目標 8（働きがいもと経済成長も）	a. 資金調達と資金源の開拓のため、「資金調達専門家グループ」または「資金調達助言委員会」を設置する。	+		
			b. 「MAB計画」のクラウドファンディングのプラットフォームの構築を推進する。	+		文化の多様性のための国際基金
			c. 企業に販売する、ユネスコエコパーク炭素排出権取引に関するシステムの構築の可能性を検証する。	+		「パリ協定」
			d. 資金集めのための「MABのユースイベント」を創設する。			
			e. 地域の資金調達情報の収集方法、及び申請の流れについて、若者を研修			

			対象とするワークショップを企画する。			
			f. 「MABネットワーク・ユースプロジェクト」を年間表彰する制度を設置する。			

### ユネスコ「MAB計画」国際調整理事会（MAB-ICC）に適用

目標	リマ 行動計画	持続可能な 開発目標 (SDGs)	行動	優先度	ユースの 関与 (責任)	ユネスコのツール	
<b>「MAB計画」国際調整理事会—目標1</b>  若者にとって効果的に活動ができるよう、ユネスコ「MAB計画」国際調整理事会（ICC）において、「MAB計画」のあらゆる面でのコミュニケーションを向上する。	D2.4; D3	SDG目標17（パートナーシップで目標を達成しよう）	a. すべてのユネスコエコパークにおいて、若者の参画に関するデータを収集するための「MAB計画」の調査を促進する。	+		ユネスコ統計研究所	
			b. 既存の「MAB計画」の「コミュニケーションガイドライン」と「ツールキット」の更新及び今後の文書作成にあたっては、ユースの視点を組み入れる。	+		ユネスコ青年プログラム	
			c. ユースによる最優秀プロジェクトを表彰する「MAB計画ユース賞」を設置する。	+			
			d. 「MAB計画」の公式文書について、“ユースにわかりやすい言葉”でまとめた概要資料を作成する。	+			
			e. ユース交流事務室を設立する（情報戦略の策定、-コミュニケーションプログラム-ユースのリストの更新）		+		
			f. 統一的なコミュニケーションの基礎を整備するため、共通の語彙表を作成する。				2005年条約語彙表
			g. 「MAB計画デー」を設立し、毎年さまざまなテーマでイベントを展開				

			する。			
<b>「MAB計画」国際調整理事会一目標2</b>  「MAB計画」のビジョン、ミッション及び活動に関する知識や認識を世界に広める。	D2	SDG目標17 (パートナーシップで目標を達成しよう)	a. 「MAB計画」の価値観を普及する著名人をイメージ大使として起用する。	+		名誉大使・親善大使
			b. 「MAB計画」博覧会を定期的開催する。	+		世界観光活動
			c. あらゆる人々が利用できるコミュニケーション資料（障がい者や教育アクセスに限度のある人々を含む）を開発する。			
			d. 「MAB計画」の汎用ラベルを作成し、「MAB計画」の価値観と一致するエコツーリズムの優秀モデルを特定する。			ユネスコのロゴマーク
			e. あらゆるレベルで「MAB計画」に関する情報を共有できるよう、双方向のツールを開発し普及する。	+	+	革新的かつイノベーティブで、双方向のツール
<b>「MAB計画」国際調整理事会一目標3</b>  「ユース代表」を選抜し、あらゆるレベルで「MAB計画」におけるガバナンスに参画させる。特に意思決定プロセスの重要な局面においてのユースを参画させる。	E2; E3	SDG目標16 (平和と公正をすべての人に)  SDG目標17 (パートナーシップで目標を達成しよう)	a. オブザーバーのメンバーにユースを含める。	+		各国常設代表部
			b. 各国において、ユースを国の代表団、「MAB計画」のナショナル・コミッティー（国内委員会）、及びユネスコエコパークにおけるガバナンスへ参画させることを必須とする。	+		ユネスコイタリア国内委員会 ユース委員会
			c. ユース代表が地域と国際活動に参加することを支援する。			
			d. 「MAB計画」の必須条件として、各国国内委員会にユース委員を2-3名を含めるよう措置する。			